



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 木村 敏和 (TEL) 042-503-9145  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,679	△10.8	68	—	69	—	△323	—
29年3月期第1四半期	19,812	△3.2	△1,100	—	△1,711	—	△1,150	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △171百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,615百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△12.05	—
29年3月期第1四半期	△42.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	91,023	27,512	29.4
29年3月期	92,559	28,003	29.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 26,755百万円 29年3月期 27,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.0	10.0
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	20.0	20.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,300	0.1	1,810	—	1,660	—	1,050	—	39.14
通期	79,400	△3.0	3,800	78.2	3,470	169.8	2,280	124.7	84.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	26,863,974株	29年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	38,762株	29年3月期	38,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	26,825,228株	29年3月期1Q	26,825,298株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、米国の景気回復が進み、日本及びユーロ圏も緩やかな景気回復基調にあり、中国及び新興諸国の景気も持ち直しの動きが見られるなど、世界経済全体は概ね堅調に推移しました。為替市場は、米国の金融政策の動向などで先行き不透明な状況であり、ドル円為替相場は、108円/米ドルから114円/米ドルの範囲を反復するなど不安定に推移しました。

航空輸送業界では、航空需要の高まりと原油安により、エアラインの収益改善が進む経営環境にありますが、格安航空会社(LCC)の台頭により競争の激化が続いています。航空機メーカーでは、航空機需要の高まりに応じて新型機種の生産機数を高水準に維持する一方、従来機種の減産を進めるなどの生産調整を進めています。又、2017年パリ航空ショーでは大手航空機メーカーが記録的な受注を獲得しており、航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれます。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連及び航空機シート等製造関連においては、生産効率改善と生産体制の安定化に努めると共に、コスト削減の取組みを進めました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材及び航空機エンジン部品の生産性改善を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、各種サービスの充実と収益改善の取組みに加え、新規品目の受注を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 17,679 百万円(前年同四半期比 2,133百万円減)、営業利益 68百万円(前年同四半期は 営業損失 1,100百万円)、経常利益 69百万円(前年同四半期は経常損失 1,711百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失 323百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失 1,150百万円)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、航空機シート製造の一部新規プログラムで開発・製造工程の初期コストの増加が見込まれたことから、当第1四半期連結会計期間末に工事損失引当金を追加計上しました。その結果、これらシート以外の製品によるものも合わせた工事損失引当金は4,798百万円となり、これによる当第1四半期連結累計期間における売上原価増加の影響額は1,364百万円(平成29年3月期末の工事損失引当金は、3,434百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費の減少等により 2,137百万円(前年同四半期比 184百万円減)となりました。

営業外損益は、急激な円高によって為替差損 576百万円を計上した前年同四半期に対して 612百万円改善して 1百万円の益(前年同四半期は、611百万円の損)となりました。

特別損益は、固定資産処分損により、23百万円の損(前年同四半期は、12百万円の損)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]及び[航空機シート等製造関連]

平成28年6月28日付の組織再編において、航空機内装品等製造関連セグメントから航空機用シートの製造事業を分離して航空機シート等製造関連セグメントを設けました。

当第1四半期連結累計期間においては、航空機シート等製造関連セグメントの前年同四半期比較が困難なことから、組織再編前の区分で比較しています。

当事業では、ボーイングが開発中の777X型機への移行の端境期を迎えた現行の777型機向けのギャレ一の出荷数の減少や航空機シートの新規プログラムの出荷が第2四半期にずれしたことなどで、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。又、経常利益については、航空機内装品等製造関連では収益が改善しましたが、既述のとおり航空機シート製造の一部新規プログラムにおいて工事損失引当金を追加計上したことによる原価増の影響を受けました。

この結果、航空機内装品等製造関連に航空機シート等製造関連を含んだ、組織再編前の航空機内装品等製造セグメントの区分による業績は、売上高 14,963百万円(前年同四半期比 1,930百万円減)、経常利益 160百万円(前年同四半期は、経常損失 1,632百万円)となりました。なお、各セグメントの内訳は、航空機内装品等製造関連は、売上高 13,238百万円、経常利益 2,145百万円、又、航空機シート等製造関連は、売上高 1,725百万円、経常損失 1,984百万円となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、炭素繊維構造部材の新規品目のコスト削減と航空機エンジン部品の生産効率改善が進みましたが、熱交換器等防衛関連の出荷が減少していることなどにより、前年同四半期に比べ売上高は減少し、経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 1,372百万円(前年同四半期比 206百万円減)、経常損失 53百万円(前年同四半期は経常損失 28百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、装備品整備の生産が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べて売上高は増加しましたが、機体整備における完成工事の減少等で利益率が低下したことから経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,342百万円(前年同四半期比 3百万円増)、経常損失 37百万円(前年同四半期は経常損失 51百万円)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助的作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円増)、経常利益 0百万円(前年同四半期比 0百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は 91,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,536百万円減少しました。内、流動資産については、現金及び預金の増加(前期比 941百万円増)、仕掛品の増加(前期比 3,300百万円増)等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少(前期比 5,738百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 1,309百万円減少しました。又、固定資産については、当第1四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから固定資産合計で前連結会計年度末に比べて 227百万円減少しました。

負債合計は63,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,045百万円減少しました。主な要因は、工事損失引当金の増加(前期比 1,364百万円増)、賞与引当金の増加(前期比 933百万円増)等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少(前期比 2,157百万円減)、短期借入金の減少(前期比 2,725百万円減)等によるものです。

純資産合計は 27,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ 490百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少(前期比 591百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は29.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における収益は、平成29年5月10日に公表した平成30年3月期連結業績予想数値に対する進捗として想定を下回りましたが、収益改善の取り組みにより回復する見込みであり、現時点では、平成30年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,277,428	3,219,058
受取手形及び売掛金	23,158,092	17,419,248
商品及び製品	602,859	635,073
仕掛品	23,098,314	26,398,755
原材料及び貯蔵品	17,659,592	17,384,910
その他	5,958,534	6,387,865
貸倒引当金	△6,161	△5,425
流動資産合計	72,748,660	71,439,487
固定資産		
有形固定資産	14,356,198	14,150,035
無形固定資産	1,562,225	1,516,262
投資その他の資産	3,892,687	3,917,566
固定資産合計	19,811,111	19,583,864
資産合計	92,559,772	91,023,351
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,608,011	7,450,212
電子記録債務	6,371,831	8,290,170
短期借入金	22,741,823	20,016,000
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
未払法人税等	965,269	941,981
賞与引当金	1,302,943	2,236,536
工事損失引当金	3,434,215	4,798,633
その他	7,121,763	6,776,270
流動負債合計	52,245,859	51,209,804
固定負債		
長期借入金	4,700,000	4,700,000
役員退職慰労引当金	175,420	143,754
執行役員退職慰労引当金	119,702	129,512
退職給付に係る負債	6,808,585	6,831,982
その他	506,664	495,354
固定負債合計	12,310,373	12,300,604
負債合計	64,556,232	63,510,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	17,626,220	17,034,619
自己株式	△30,689	△30,772
株主資本合計	27,323,417	26,731,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,871	145,970
繰延ヘッジ損益	△72,280	4,764
為替換算調整勘定	135,690	154,049
退職給付に係る調整累計額	△304,154	△280,749
その他の包括利益累計額合計	△133,873	24,035
非支配株主持分	813,996	757,174
純資産合計	28,003,540	27,512,943
負債純資産合計	92,559,772	91,023,351



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,812,450	17,679,125
売上原価	18,590,363	15,473,189
売上総利益	1,222,087	2,205,935
販売費及び一般管理費	2,322,212	2,137,384
営業利益又は営業損失(△)	△1,100,125	68,550
営業外収益		
受取利息	768	1,771
受取配当金	2,720	3,056
持分法による投資利益	7,334	5,371
助成金収入	49,886	44,793
受取保険金	-	33,000
契約解約金	-	28,050
その他	19,378	5,644
営業外収益合計	80,088	121,686
営業外費用		
支払利息	70,318	82,223
為替差損	576,733	22,671
その他	44,624	15,751
営業外費用合計	691,676	120,645
経常利益又は経常損失(△)	△1,711,713	69,591
特別損失		
固定資産処分損	6,426	23,672
本社移転費用	6,288	-
特別損失合計	12,715	23,672
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,724,428	45,918
法人税、住民税及び事業税	380,797	869,727
法人税等調整額	△946,475	△489,290
法人税等合計	△565,678	380,437
四半期純損失(△)	△1,158,750	△334,518
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,257	△11,169
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,150,492	△323,348

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,158,750	△334,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,724	39,099
繰延ヘッジ損益	-	77,045
為替換算調整勘定	△446,592	20,834
退職給付に係る調整額	20,434	23,404
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,349	2,272
その他の包括利益合計	△457,231	162,656
四半期包括利益	△1,615,982	△171,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,534,701	△165,439
非支配株主に係る四半期包括利益	△81,280	△6,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連				
売上高							
外部顧客への売上高	16,894,444	1,579,249	1,338,747	19,812,442	8	19,812,450	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,988	839	18,158	20,986	22,751	43,738	
計	16,896,432	1,580,089	1,356,906	19,833,428	22,760	19,856,188	
セグメント損失(△)	△1,632,901	△28,856	△51,248	△1,713,007	1,294	△1,711,713	

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,713,007
「その他」の区分の利益	1,294
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,711,713

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連				
売上高								
外部顧客への売上高	13,238,135	1,725,814	1,372,418	1,342,744	17,679,113	11	17,679,125	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	595,539	-	197	100,319	696,056	26,147	722,204	
計	13,833,674	1,725,814	1,372,615	1,443,064	18,375,170	26,159	18,401,329	
セグメント利益 又は損失(△)	2,145,258	△1,984,933	△53,673	△37,704	68,947	644	69,591	

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	68,947
「その他」の区分の利益	644
四半期連結損益計算書の経常利益	69,591

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社を取り巻く経営環境と当社の事業規模の変化等を踏まえ、今後も更なる増大が予測される民間航空機需要に対応できる体制を構築することなどを目的として、平成28年6月28日より、従来の社内カンパニー制を廃止し、1事業本部、4事業部に再編しております。従来、航空機内装品製造事業において行っていた客室の座席(シート)の開発・設計・製造の事業を独立させ、「航空機内装品製造事業部」、「航空機シート製造事業部」、「航空機器製造事業部」、「航空機整備事業部」の4つの事業部に再編し、この内、航空機整備事業部を除く3つの製造関連の事業部を一括りにした「航空機内装品・機器事業本部」を新設しております。これに伴い、前第2四半期連結会計期間より、「航空機内装品等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」としていた報告セグメントを、「航空機内装品等製造関連」、「航空機シート等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント区分に基づいて作成するために必要な情報を遡って入手することは困難なため、次のとおり、当第1四半期連結累計期間について、変更前の区分方法に基づき作成しております。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,963,950	1,372,418	1,342,744	17,679,113	11	17,679,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,280	197	100,319	128,797	26,147	154,945
計	14,992,231	1,372,615	1,443,064	17,807,911	26,159	17,834,071
セグメント利益 又は損失(△)	160,324	△53,673	△37,704	68,947	644	69,591

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。